

＜参考2＞ 障害程度区分 認定調査項目

介護給付あるいは訓練等給付を希望する場合には、全国共通の認定調査が必ず実施されます。認定調査は、障害者または障害児の保護者等に面接し、その心身の状況や置かれている環境等について調査を行います。調査は、概況調査、認定調査(アセスメント調査)、その他特記事項から構成されます。

「概況調査」の項目は以下のとおりです。

- ①調査実施者（記入者）、 ②調査対象者、 ③障害の状況・等級等、 ④現在受けているサービスの状況、
- ⑤地域生活関連についての勘案事項（外出、社会活動の参加、入所・入院等）、
- ⑥就労関連についての勘案事項（就労事項、就労経験、就労希望等）、
- ⑦日中活動についての勘案事項（日中活動の場等）、
- ⑧介護者関連についての勘案事項（介護者の有無、介護者の健康状況等）、
- ⑨居住関連についての勘案事項（生活の場等）、
- ⑩その他の勘案事項（障害の状態の特徴、本人等の収入、家族の状況等）

「認定調査」と「その他特記事項」については、以下のとおりです。

＜認定調査票＞

*厚生労働省：平成18年3月17日付け障害程度区分に関する通知等より

1-1 麻痺等の有無について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可) 特記事項 ⇒ 1

- 1.ない 2.左上肢 3.右上肢 4.左下肢 5.右下肢 6.その他

1-2 関節の動く範囲の制限の有無について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可) ⇒ 1

- 1.ない 2.肩関節 3.肘関節 4.股関節 5.膝関節 6.足関節 7.その他

2-1 寝返りについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない

2-2 起き上がりについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない

2-3 座位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.できる 2.自分の手で支えればできる 3.支えてもらえればできる 4.できない

2-4 両足での立位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.支えなしでできる 2.何か支えがあればできる 3.できない

2-5 歩行について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない

2-6 移乗について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助

2-7 移動について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 2

- 1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助

3-1 立ち上がりについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 3

- 1.つかまらないでできる 2.何かにつかまればできる 3.できない

3-2 片足での立位保持について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 3

- 1.支えなしでできる 2.何か支えがあればできる 3.できない

3-3 洗身について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 3

- 1.できる 2.一部介助 3.全介助 4.行っていない

4-1 じょくそう(床ずれ)等の有無について、あてはまる番号に○印をつけてください。 ⇒ 4

- A.じょくそう(床ずれ)がありますか 1.ない 2.ある
 I.じょくそう(床ずれ)以外で処置や手入れが必要な皮膚疾患等がありますか 1.ない 2.ある

4-2 えん下について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。 ⇒ 4

- 1.できる 2.見守り等 3.できない

4-3 食事摂取について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒4			
1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助				
4-4 飲水について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒4			
1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助				
4-5 排尿について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒4			
1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助				
4-6 排便について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒4			
1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助				
5-1 清潔について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.一部介助 3.全介助				
ア.口腔清潔(歯みがき等)	1	2	3	
イ.洗顔	1	2	3	
ウ.整髪	1	2	3	
エ.つめ切り	1	2	3	
5-2 衣服着脱について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.見守り等 3.一部介助 4.全介助				
ア.上衣の着脱	1	2	3	4
イ.ズボン、パンツ等の着脱	1	2	3	4
5-3 薬の内服について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.一部介助 3.全介助				
5-4 金銭の管理について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.一部介助 3.全介助				
5-5 電話の利用について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.一部介助 3.全介助				
5-6 日常の意思決定について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒5			
1.できる 2.特別な場合を除いてできる 3.日常的に困難 4.できない				
6-1 視力について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.普通(日常生活に支障がない) 2.約1m離れた視力確認表の図が見える 3.目の前に置いた視力確認表の図が見える 4.ほとんど見えない 5.見えているのか判断不能				
6-2 聴力について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.普通 2.普通の声がやっと聞き取れる 3.かなり大きな声なら何とか聞き取れる 4.ほとんど聞えない 5.聞えているのか判断不能				
6-3-ア 意思の伝達について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.調査対象者が意思を他者に伝達できる 2.ときどき伝達できる 3.ほとんど伝達できない 4.できない				
6-3-イ 本人独自の表現方法を用いた意思表示について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.独自の方法によらずに意思表示ができる。 2.時々、独自の方法でないと意思表示できないことがある。 3.常に、独自の方法でないと意思表示できない。 4.意思表示ができない。				
6-4-ア 介護者の指示への反応について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.介護者の指示が通じる 2.介護者の指示がときどき通じる 3.介護者の指示が通じない				
6-4-イ 言葉以外のコミュニケーション手段を用いた説明の理解について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
1.日常生活においては、言葉以外の方法(ジェスチャー、絵カード等)を用いなくても説明を理解できる。 2.時々、言葉以外の方法(ジェスチャー、絵カード等)を用いないと説明を理解できないことがある。 3.常に、言葉以外の方法(ジェスチャー、絵カード等)を用いないと説明を理解できない。 4.言葉以外の方法を用いても説明を理解できない。				
6-5 記憶・理解について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒6			
ア.毎日の日課を理解することが 1.できる 2.できない				
イ.生年月日や年齢を答えることが 1.できる 2.できない				
ウ.面接調査の直前に何をしていたか思い出すが 1.できる 2.できない				
エ.自分の名前を答えることが 1.できる 2.できない				
オ.今の季節を理解することが 1.できる 2.できない				
カ.自分がある場所を答えることが 1.できる 2.できない				

7 行動について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

⇒7

ア物を盗られたなどと被害的になることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
イ作話をし周囲に言いふらすことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ウ実際にないものが見えたり、聞えることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
エ泣いたり、笑ったりして感情が不安定になることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
オ夜間不眠あるいは昼夜の逆転が	1.ない	2.ときどきある	3.ある
カ暴言や暴行が	1.ない	2.ときどきある	3.ある
キしつこく同じ話をしたり、不快な音を立てることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ク大声をだすことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ケ助言や介護に抵抗することが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
コ目的もなく動き回ることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
サ「家に帰る」等と言い落ち着きがないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
シ外出すると病院、施設、家などに1人で戻れなくなることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ス1人で外に出たがり目が離せないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
セいろいろなものを集めたり、無断でもってくるものが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ソ火の始末や火元の管理ができないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
タ物や衣類を壊したり、破いたりすることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
チ不潔な行為を行う(排泄物を弄ぶ)ことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ツ食べられないものを口に入れることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある (3A週1回以上 3Bほぼ毎日)
テひどい物忘れが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ト特定の物や人に対する強いこだわりが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ナ多動または行動の停止が	1.ない	2.希にある	3.月に1回以上
ニパニックや不安定な行動が	4.週に1回以上	5.ほぼ毎日	3.月に1回以上
ヌ自分の体を叩いたり傷つけたりするなどの行為が	1.ない	2.希にある	3.月に1回以上
ネ叩いたり蹴ったり器物を壊したりなどの行為が	4.週に1回以上	5.ほぼ毎日	3.月に1回以上
ノ他人に突然抱きついたり、断りもなく物を持ってくることが	1.ない	2.希にある	3.月に1回以上
ハ環境の変化により、突発的に通常と違う声を出すことが	4.週に1回以上	5.ほぼ毎日 (ほぼ外出のため)	3.週に1回以上
ヒ突然走っていなくなるような突発的行動が	1.ない	2.希にある	3.週に1回以上
フ過食、反すう等の食事に関する行動が	4.日に1回以上	5.日に頻回	3.週に1回以上
ヘ気分が憂鬱で悲観的になったり、時には思考力も低下することが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ホ再三の手洗いや、繰り返しの確認のため、日常動作に時間がかかることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
マ他者と交流することの不安や緊張のため外出できないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ミ一日中横になっていたりと、自室に閉じこもって何もしないでいることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ム話がまとまらず、会話にならないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
メ集中が続かず、いわれたことをやりとせせないことが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
モ現実には合わず高く自己を評価することが	1.ない	2.ときどきある	3.ある
ヤ他者に対して疑い深く拒否的であることが	1.ない	2.ときどきある	3.ある

8 過去14日間に受けた医療について、あてはまる番号すべてに○印をつけてください。(複数回答可)

⇒8

処置内容	1.点滴の管理	2.中心静脈栄養	3.透析	4.ストーマ(人工肛門)の処置
	5.酸素療法	6.レスピレーター(人工呼吸器)	7.気管切開の処置	
	8.疼痛の看護	9.経管栄養		
特別な対応	10.モニター測定(血圧、心拍、酸素飽和度等)	11.じょくそうの処置		
失禁への対応	12.カテーテル(コンドームカテーテル、留置カテーテル、ウロストーマ等)			

9-1 調理(献立を含む)について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

⇒9

1.できる	2.見守り、一部介助	3.全介助
-------	------------	-------

9-2 食事の配膳・下膳(運ぶこと)について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

⇒9

1.できる	2.見守り、一部介助	3.全介助
-------	------------	-------

9-3 掃除(整理整頓を含む)について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。

⇒9

1.できる	2.見守り、一部介助	3.全介助
-------	------------	-------

9-4 洗濯について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒9
1.できる 2.見守り、一部介助 3.全介助	
9-5 入浴の準備と後片付けについて、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒9
1.できる 2.見守り、一部介助 3.全介助	
9-6 買い物について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒9
1.できる 2.見守り、一部介助 3.全介助	
9-7 交通手段の利用について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒9
1.できる 2.見守り、一部介助 3.全介助	
9-8 文字の視覚的認識使用について、あてはまる番号に一つだけ○印をつけてください。	⇒9
1.できる 2.一部介助 3.全介助	

＜その他特記事項＞

1 麻痺等に関する項目についての特記事項

1-1 麻痺等の有無、1-2 関節の動く範囲の制限の有無

()

()

2 移動等に関する項目についての特記事項

2-1 寝返り、2-2 起き上がり、2-3 座位保持、2-4 両足での立位保持、2-5 歩行、2-6 移乗、2-7 移動

()

()

3 動作等に関する項目についての特記事項

3-1 立ち上がり、3-2 片足での立位保持、3-3 洗身

()

()

4 身辺の介護等に関する項目についての特記事項

4-1 じょくそう（床ずれ）等の有無、4-2 えん下、4-3 食事摂取、4-4 飲水、4-5 排尿、4-6 排便

()

()

5 身辺の世話等に関する項目についての特記事項

5-1 清潔、5-2 衣服着脱、5-3 薬の内服、5-4 金銭の管理、5-5 電話の利用、5-6 日常の意思決定

()

()

6 コミュニケーションに関する項目についての特記事項

6-1 視力、6-2 聴力、6-3-7 意思の伝達、6-3-1 本人独自の表現方法、6-4-7 介護者の指示への反応、6-4-1 言葉以外の手段を用いた説明の理解、6-5 記憶・理解

()

()

7 行動に関する項目についての特記事項

7 行動（7～7まで）

()

()

8 医療に関する項目についての特記事項

8 医療

()

()

9 生活に関する項目についての特記事項

9-1 調理、9-2 配下膳、9-3 掃除、9-4 洗濯、9-5 入浴準備、9-6 買い物、9-7 交通手段、9-8 文字の視覚的認識使用

()

()

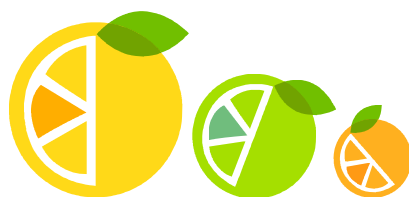
＜参考3＞ キャリア教育学習プログラム枠組み例の紹介

岩手県教育委員会学校教育室のWebページには、キャリア教育の推進に関わる資料等が数多く掲載されています。詳しくは、岩手県のWebサイト (<http://www.pref.iwate.jp>) から岩手県教育委員会学校教育室のWebページに入ってご覧下さい。

職業観・勤労観を育むキャリア教育学習プログラム(例)		岩手県教育委員会		
		小学校	中学校	高等学校
校種 発達段階	低学年	中学年	高学年	高等学校
	進路探索・選択にかかわる基礎形成の時期			
職業観・勤労観の形成	進路探索・選択にかかわる基礎形成の時期	進路探索・選択にかかわる基礎形成の時期	進路探索・選択にかかわる基礎形成の時期	進路探索・選択にかかわる基礎形成の時期
	自己及び他者への積極的関心の形成・発展 ・身のまわりの仕事や環境への関心・理解の向上 ・夢や希望、抱れる自己イメージの確立 ・勤労観を重んじ目標に向かって努力する態度の形成	肯定的に自己理解と自己有用性の確立 ・興味・関心に基づき職業観・勤労観の形成 ・進路計画の立案と主体的選択 ・生き方や進路に関する現実的探求	現実的探求・試行と社会的移行準備の時期 ・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・進路計画の立案と主体的移行の準備 ・進路の現実的検討と試行的参加	現実的探求・試行と社会的移行準備の時期 ・自己理解の深化と自己受容 ・選択基準としての職業観・勤労観の確立 ・進路計画の立案と主体的移行の準備 ・進路の現実的検討と試行的参加
人間関係形成能力	友達と仲良く遊びあう ・学校遊び ・お楽しみ会	友達と仲良く遊びあう ・学校遊び ・自己紹介カード作り ・お楽しみ会	自分の成長を振り返る ・自分探し ・お楽しみ会 ・体育大会、文化祭等、作業	自分の成長を振り返る ・自分探し ・お楽しみ会 ・体育大会、文化祭等、作業
コミュニケーション能力	自分の考えをみんなの前で ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分の立場に立って考え行動する ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	相手や目的に応じてコミュニケーションができる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	相手や目的に応じてコミュニケーションができる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会
情報収集・探索能力	身近で働く人々に興味・関心をもつ ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	身近な職業・職業の様子を知る ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報収集を行う ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報収集を行う ・お楽しみ会 ・お楽しみ会
情報活用能力	様々な情報から自分の考えをまとめる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	様々な情報から自分の考えをまとめる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	様々な情報から自分の考えをまとめる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	様々な情報から自分の考えをまとめる ・お楽しみ会 ・お楽しみ会
将来設計能力	自分の役割を知る ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分の役割を知る ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分の役割を知る ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分の役割を知る ・お楽しみ会 ・お楽しみ会
意思決定能力	自分で考え自分で行動する ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分で考え自分で行動する ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分で考え自分で行動する ・お楽しみ会 ・お楽しみ会	自分で考え自分で行動する ・お楽しみ会 ・お楽しみ会

洋野町キャリア能力育成プログラム

発達段階		小学校			中学校		高校
		低学年	中学年	高学年	中学校	高校	
育てたい能力	人間関係形成能力	目指す児童生徒像	身の回りで働く人々の様子に興味・関心をもち、働くことの大切さが分かる。	いろいろな仕事があることを知り、将来の夢や希望をもち、働くことの楽しさが分かる。	身近な産業や職業についての情報を集め、憧れとす職業をもち、働くことの苦勞が分かる。	生き方や進路にかかわる情報を集め、自分にふさわしい職業や仕事への関心を高めるとともに、体験等を通して働くことの意義や働く人の思いが分かる。	卒業後の進路や職業・産業の動向についての情報を集め、自己の能力や適性に合わせて自己を生かせる進路を選択・決定し、その実現に向けて努力する。
		自他の理解能力	友達と仲良く遊び、助け合う。	自分や友達のよいところを認め、励まし合う。	話し合い等に積極的に参加し、自分と異なる意見も理解しようとする。	自分の良さや個性が分かり、他者の良さや感情を理解し、尊重する。	自己の職業的な能力・適性を理解し、それを受け入れて伸ばそうとする。
	情報活用能力	コミュニケーション能力	あいさつ、「ありがとう」「ごめんなさい」を言う。	友達の考えを理解しながら、自分の考えを分かり易く伝えようとする。	異年齢集団の活動に参画して、役割と責任を果たそうとする。	人間関係の大切さを理解し、コミュニケーションスキルの基礎を習得する。	異年齢の人や異性等、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図る。
		情報収集・探求能力	身近で働く人々の様子が分かり、興味・関心をもち、心をもつ。	いろいろな職業や生き方があることが分かる。	身近な産業や職業の様子を知るとともに、自分に必要な情報を探す。	生き方や進路にかかわる情報を、様々なメディアを通して調査・収集・整理し活用する。	卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面的・多角的に情報を集め検討する。
	将来設計能力	職業理解能力	係や当番の仕事に取り組み、それらの大切さが分かる。	係や当番活動に積極的にかかわり、働くことの意味が分かる。	施設・職場見学等を通して、働くことの大切さや苦勞が分かる。	体験等を通して勤勞の意義や働く人の思いが分かり、将来の職業生活に向けて、今の学習の必要性や大切さを理解する。	職業等の社会参加や上級学校での学習等に関する探索的・試行的な体験に取り組み、職業や勤勞に対する理解を深める。
		役割把握・認識能力	家や学級での仕事の大切さが分かる。	互いの役割や役割分担の必要性が分かる。	社会生活には、いろいろな役割があることや、その苦勞が分かる。	日常の生活や学習と将来の生き方との関係、様々な職業の社会的な役割を理解し、自分の生き方を考える。	ライフステージに応じた個人的・社会的役割を理解し、将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を理解する。
	意思決定能力	計画実行能力	準備や後片付けをすすめる。	将来の夢や希望をもち、計画づくりの必要性に気付く。	憧れとする職業をもち、今しなければならぬことを考える。	将来の夢や職業を思い描き、自分にふさわしい職業や仕事への関心・意欲を高め、目標を立てて努力する。	生きがい、やりがいがあり自己を生かせる生き方や進路を現実的に考え、進路計画を立案し、その実現に取り組む。
		選択能力	よいこと、悪いことが分かる。	自分のやりたいことやよいことなどを考え、進んで取り組む。	係活動などで自分のやりたい関係、やれそうな係を選ぶ。	自己の個性や興味・関心に基づいて、よりよい選択をし、選択・決定・結果には責任が伴うことを理解する。	選択の基準となる自分なりの価値観・職業観・勤勞観をもち、多様な選択の中から、自己の意思と責任で当面の進路や学習を主体的に選択する。
	課題解決能力	自分のことは自分で行おうとする。	自分の力で課題を解決しようとする。	自分の力で課題を解決しようとする。	生活や学習上の課題を見つけて、自分の力で解決しようとする。	よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して、自ら課題を見出していくことの大切さを理解する。	将来設計、進路希望の実現を目指して課題を設定し、その解決に取り組む。



～知的障害のある児童生徒が在籍する特別支援学校のためのキャリア教育推進ガイドブック～

「特別支援学校（知的）キャリア教育推進ガイドブック」

理 解 編

問い合わせ：岩手県立総合教育センター

特 別 支 援 教 育 室

電 話：0198-27-2821

平成20年3月25日

*本ガイドブックは、以下のアドレスからダウンロードできます。

<http://www.1.iwate-ed.jp/tantou/tokusi>